



市政の あゆみ

2005年を振り返って

8月

- 4日・登別市の小学生10名が、「ふるさと豆記者訪問団」として小原小学校の児童と交流
- 11日・2005白石夏まつり(～20日)、札幌白石区の皆さんも参加
- 16日・8.16宮城県沖地震発生(マグニチュード7.2、震度5弱)を受けて災害対策本部を設置。市内各所で瓦落下、道路への土砂流出などの被害発生
- 20日・海老名白石姉妹都市スポーツ交流少年野球大会
- 24日・大泉記念病院移転新築落成披露式典
- 25日・大型の台風11号の最接近により災害対策本部を設置、住宅半壊1棟、床上浸水2棟、床下浸水9棟などの被害が発生(～26日)
- 27日・白石城開門10周年記念事業白石城御前試合、白石城・夏の祭典スペシャル

9月

- 15日・第48回白石市小学校体育祭
- 18日・第11回姉妹都市国際親善水泳大会
・第19回蔵王高原マラソン大会

10月

- 1日・平成17年国勢調査実施
- 2日・弥治郎こけし村ふれあい祭り
- 3日・113自治会で防災懇談会を開催(～11月13日)、防災ハザードマップを配布
- 9日・第77回白石市民体育大会
- 15日・市民有志の団体が第1回博物館フォーラムを開催
・市内の中学生2名が札幌白石区で行われた「第36回白石区中学生の主張発表会」に参加
- 16日・白石城茶会
- 18日・海老名市の中学生2名が東中学校の生徒と交流
- 21日・市内交通事故による死亡者ゼロ連続6カ月達成による県警察本部長からの「祝詞」伝達式
- 30日・白石城開門10周年記念事業甲冑若武者初登城
・第7回福祉まつり
・第36回白石市民文化祭

11月

- 5日・第27回白石市農業祭(～6日)
・第2回モクズガニ料理コンテスト
- 11日・札幌白石区の中学生2名が南中学校での主張交流のため来訪
- 25日・第28回白石市交通安全市民大会

12月

- 1日・UIターン者の支援を目的とした「白石市やまびこプラン」を開始
- 8日・叙勲祝賀会
- 31日・白石城「除夜の鐘を鳴らす会」



▲将棋に熱中する子どもたち



▲大好評だった「景綱雛子」



▲威風堂々！若武者たち



▲華麗なよさこい踊り

白石城開門10周年記念事業(主に8月27日、10月30日)

平成7年5月3日のオープンから今年で10周年を迎えた白石城。市ではこの節目を記念してさまざまなイベントを開催しました。
その中心イベントが8月27日に行われた「白石城御前試合」、「白石城・夏の祭典スペシャル」と10月30日に行われた「甲冑若武者初登城」。華麗な踊りや雄壮な武術披露なども行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。



▲7月16日に行われた除幕式

札幌白石親交会創立30周年記念親善訪問団30名が札幌市白石区を訪問(7月15日～17日)
白石区ふるさと会(札幌市白石区)が設立されてから、今年で30年目を迎えたことを記念して、白石区の礎を築いた佐藤孝郷氏の顕彰碑を札幌市立白石小学校「白石の森」に建立しました。
札幌白石親交会(当市)では、設立30周年記念事業として訪問団を結成し、白石区を訪問しました。顕彰碑除幕式および第30回白石区ふるさとまつりには風間市長と共に市民30名が参加し、白石区民との交流を深めました。



▲県中体連で優勝を見事成し遂げた白石中学校サッカー部の皆さん

白石中学校サッカー部が第54回宮城県中学校総合体育大会で初優勝(7月22日～25日)
7月22日から行われた第54回宮城県中学校総合体育大会において、白石中学校サッカー部が優勝し、仙南地区で初めて頂点に立ちました。その後、東北大会でも準優勝し、全国大会への出場を果たしました。



▲組織再編により、都市整備課や生涯学習課、企画情報課などの新しい課が誕生



▲地区公民館の管理運営は4月から地域の団体へ移行



▲事務連絡所の廃止に伴い、地区郵便局で各種証明書の発行を開始

第3次行政改革による市政の新たな枠組みがスタート(4月1日～)

市民サービスの向上と効率的な行政運営を目指し、4月1日から新しい体制がスタートしました。課の統廃合による組織再編、事務連絡所の廃止と地区公民館機能の見直し、指定管理者制度の導入など、時代の変化に対応した新しい体制が、準備期間を経て本格的に導入されました。

また、「やる気応援事業」や「きらめき推進事業」など、地域住民のやる気や夢の実現に向けたさまざまな支援制度も発足するなど、地域の持つ力をうまく発揮できるよう行政がカバーする仕組みを創設し、豊かな地域づくりを目指す取り組みも活発に展開されています。市では、「くらし日本一のまちづくり」の実現に向け、今後も改革に積極的に取り組んでいきます。



▲3月30日に開催された出発式

市民バスが運行を開始(4月1日)
市では4月1日から、路線バスと患者輸送バスを統合した「白石市民バス(愛称:きやっすくん)」の運行を開始しました。
5台7コース(11月からは「薬師堂線」が試験運行中)で運行が開始された市民バスは、運賃が1回の乗車につき一律100円で、70歳以上・中学生以下・障害者の方は無料。市街地以外では停留所以外でも乗り降りできるようになっています。



▲ひかり幼稚園の園児による踊りも披露!

すまいるひろばが落成(4月3日)
4月3日、商店街のにぎわい創出を目指して旧高基跡地に整備を進めてきた「すまいるひろば」が完成し、落成式が行われました。春・夏のお祭りのための各種イベントとしてこの広場がメイン会場として使用されており、隣接する壽丸屋敷とあわせ、中心市街地活性化の拠点として活躍しています。

2005年は市民の皆さんにとってどんな年だったでしょうか?

風間市政の1年目の年は、第3次行政改革に伴う組織再編や、地区公民館で指定管理者制度が導入されるなど、近年まれに見る変革の年となりました。また、開門10周年を迎えた白石城では多彩な記念イベントが行われるなど、何かと話題の多い一年となりました。2006年は市政、そして市民の皆さんにとって、さらなる飛躍の年となることを期待しています。

2005年の主な出来事

1月

- 1日・白石城一周元旦マラソン、初日の出を拝む会
- 2日・こけし村でこけしの初挽き
- 9日・平成16年度成人式
- 10日・白石市消防団出初め式
・碧水園舞台開き

2月

- 7日・ガ島ミャンマー会、市にビルマの「豎琴」を寄付

3月

- 11日・第24回公民館まつり(～13日)
・毎日新聞社「毎日・地方自治大賞奨励賞」伝達式
- 25日・河川ふれあい農園が開園
- 31日・「白石市次世代育成支援行動計画」を策定

4月

- 1日・第3次行政改革により組織・機構が大幅に変更
・事務連絡所の廃止に伴い、地区郵便局窓口での各種証明書などの交付業務を開始
・地区公民館など32施設に「指定管理者制度」を導入、公民館は地区の団体による管理運営へ移行
・路線バスと患者輸送バスを統合した「白石市民バス(愛称:きやっすくん)」が運行開始
・増加傾向にある税の滞納に対応するため、仙南2市7町共同で仙南地域広域行政事務組合内に滞納整理課を設置
・「白石市地域コミュニティ育成支援事業補助金(愛称:やるき応援事業)」制度創設
・「白石市誕生祝い金」制度創設
・「白石市きらめき推進事業」開始

5月

- 3日・すまいるひろば落成式
- 15日・水芭蕉・どうだんの森開園式
- 20日・材木岩公園内「氷室」の復元完了

6月

- 3日・白石市民春まつり
・第47回全日本こけしコンクール(～5日)
- 12日・白石市総合防災訓練
- 25日・馬牛沼産直センター開所式
下旬・「めんこ印」、試験販売開始

7月

- 9日・第1回白石市長杯少年サッカー交流大会
- 15日・札幌白石親交会設立30周年を記念し、親善訪問団30名が札幌白石区を訪問(～17日)
- 21日・中学生8名がオーストラリア・ハーストビル市を訪問(～31日)
- 25日・白石中学校サッカー部が第54回宮城県中学校総合体育大会(22日～25日)で初優勝
- 30日・さわやかフェスティバル